

---

# 短歌ごっこ'10.神無月

逸見

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

短歌「つこ・10・神無月

### 【ZPDF】

Z84930

### 【作者名】

逸見

### 【あらすじ】

日常を詠んできます

短歌の形式だけど、「短歌」と言い切つてしまつのはなんかおこがましい

そんな訳で「短歌「つこ」」です

ゆっくりと  
細くて長い  
綱の上  
バランスとりつつ  
行けアルルカン

飽きぬまま  
リピート再生  
繰り返し  
体に刻む  
キセキのリズム

書きためた  
少女の頃の  
つぶやきを  
ゴミ箱に入れ  
またすぐ出して

扇風機  
回して乾かす  
洗い髪  
まだ少しだけ  
夏残る秋

新作は

だんだんと  
スロー・テンポに  
オルゴール  
最後はいつも  
息絶え絶えで

Tシャツの  
エリア縮小  
引き出しの  
勢力分布図  
秋の陣かな

全ては破片  
かけらだし  
ずっと完成  
できないパズル

片隅に  
笑顔だけを  
願わくば  
セピア色した  
風景の中

エヴァンゲリオン

ケーキなり

半袖見て見る

イブ向けパンフ

日常の

ワタシが時に

見え隠れ

親指だけで

作る短歌に

のんびりと

流れる時間

満喫中

日差しまぶしい

秋晴れの午後

決めたがり

型にはめては

納得す

言葉飲み込み

聞き流していく

口いっぱい  
甘い余韻を  
残しつつ

溶けて消える  
チョコのかけら

半袖は

少し寒くて

長袖は

腕まくりする

五分袖の秋

ボアブーツ

並ぶカタログ

秋一つ

飛ばして冬が

来た気分で見

こうしては  
いられないよな

違うよな

焦りにも似た

思い初秋に

太陽と

気持ちいい風

受けながら

左右揺れつつ

乾くTシャツ

くるまた  
布団の中の  
ぬくもりに  
幸せ感じる  
季節すぐそこ

コスモスと  
さんま虫の音  
金木犀  
五感使って  
味わう秋たち

ららららホン  
花の待ち受け  
設定す  
華やいだねと  
笑う母あり

時々は  
足を止めて  
振り返る  
キンモクセイの  
薫る季節に

少しだけ 肌寒ささえ  
感じ見る 神無月の夜  
空に咲く花

ぴつたりの 言葉を探す  
旅の途中 “今はまだまだ  
人生を語らず”

淡きもの 漂いながら  
消えはせず 存在するも  
陽炎のごとく

例えば 充電1の 携帯の  
目盛りを見るに 似た心待ち

嘘をつく 資格すらも

ないままに  
つく嘘風に  
吹かれる落ち葉

考えて

どうなるものでも  
無いことを  
つい考えた  
夜長な秋に

ほんわかと  
残る余韻を  
楽しんで  
目覚めてたどる  
朧気な夢

あめ色に  
煮込んだ大根  
湯気たてる  
我もなりたし  
柔らかきもの

どの人も  
見る景色みな  
違うけど  
おんなじ空で

つながっている

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8493o/>

短歌ごっこ'10.神無月

2010年11月11日20時03分発行